

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

62

平成27年
1月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

新年御挨拶

「医療機関の消費税問題について」

平成27年元旦
医療法人光臨会
理事長 荒木 攻

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

今年は10干12支で「乙未」（きのとひつじ）です。未は家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。今年は世界中の紛争や戦争、あるいは疫病が治まることを願っております。

昨年12月14日は「大義のない解散」といわれながら安倍晋三総理大臣は衆議院を解散し、総選挙を行ないました。結果は自民党の圧勝に終わり国民の信を問うた一つの消費税10%先送り問題は解決したかにみえます。そもそも日本の消費税の導入は、1989年（平成元年）4月竹下登内閣で税率3%でスタートしました。1997年（平成9年）4月橋本龍太郎内閣が5%に増税しました。そして昨年2014年（平成26年）4月の8%に増税という歴史を経てきています。しかし、消費税の導入に決して絶対反対の立場ではありませんが一方で我々は消費税の導入以来長い間、「医療は非課税」という名のもとに本来ならば最終消費者にまで課せられる消費税が、医療機関の負担で止まってしまいます。昨年、消費税8%へUPと同じタイミングで実質マイナス1.26%の診療報酬改定が行なわれました。これにより当然のことながら医療機関の病院経営はますます厳しい状況となっています。病院の費用構造のイメージは、課税対象項目（医薬品費、給食用材料費、診療材料費・医療消耗器具備品費、委託費、通勤手当）、課税・非課税混在項目（設備関係費、経費、その他の医業費用）、非課税対象項目（給与費、減価償却費）があります。中央社会保険医療協議会などが医療経済実態調査を行ない、医療機関の消費税負担分を診療報酬改定時に診療報酬の上乗せという形で調整を図っていますが、今一つ透明性と公平性を欠くところがあります。この消費税問題に関しては、税率が10%になった時に軽減税率等か非課税還付等の措置が講じられるタイミングと考える向きもありますが、その時までゆっくり待っておれない緊急を要する課題であります。

私達は日常業務において標準化を図り、効率的な医療に取組んで経営基盤を安定させ、少しでも安全で質の高い医療の提供を心掛けていますが、国の省庁をまたぐ制度的問題は我々としてはいかんともしがたく、政権政党、日本医師会等関係各方面により早期の解決を目指して欲しいものであります。



もくじ

- 1 新年御挨拶
- 2 着任医師の紹介・認定看護師の紹介
- 3 平成26年8月豪雨災害 リハビリテーション療法士派遣活動報告
- 4 広島大学看護学生の臨床実習の受入報告について
西区区民祭りに参加
- 5 連携医療機関のご紹介 —— 医療法人 杏林会 いとうクリニック ——

着任医師の紹介

平成26年9月1日より着任されました渋川医師を紹介させて頂きます

脳神経外科 主任部長 渋川 正顕

◎出身校：広島大学 1992年(平成4年卒)

◎専門医：脳神経外科専門医・日本脳卒中学会専門医

　　日本脳血管内治療学会専門医・日本認知症学会専門医

　　日本頭痛学会専門医

◎主たる診療分野：

　　脳神経外科一般　とくに脳卒中に関わるもの頭痛や認知症も興味
　　をもって診察しています

◎どのような事に気を付けて診察・診療をおこなっていますか：

　　患者さんの訴えをじっくりと聞きながら外来をおこなうように努めています。もし、待ち時間が
　　長くなつてもご容赦ください！

◎今後の展望：

　　当院はMRIが2台設置されており、緊急でも可能な限り対応しています。とくに3T(テスラ)の
　　機種を惜しみなく使える環境は患者さんにとって非常に恵まれていると言えます。脳卒中治療の
　　基本は早期の診断と治療であり、スピード感のある医療が提供できるようにがんばります。

　　また、高性能な脳血管撮影装置(DSA)も装備されており、脳血管内治療に関しては、すでに勤
　　務されている脳血管内治療学会専門医である山崎弘幸先生とともに、さらに質の高い治療が提供
　　できればと考えます。

(追記：若くないので体の無理はききませんが、老体に鞭打ちながらがんばっています。)



認定看護師の紹介

平成26年6月22日に日本看護協会認定看護分野感染管理資格を取得しました島中看護師を紹介させて頂きます

感染管理認定看護師 島中 延枝

感染管理認定看護師の役割は、患者様、ご家族および訪問者、医療従事者など、すべての人を感染から守ることです。

感染の拡大防止と継続的な介入・把握を掲げ、感染対策に係る感染防止対策チーム会(ICT)や感染防止対策委員会(ICC)が機能し、効果的な感染対策が実践できることを目的に活動しています。また、現状を把握し、データ分析し、対策の見直しや改善につなげられるよう、フィードバックを行い、職員への教育、感染対策に関連した相談の対応などを行っています。また、これらの対応ができるよう、院外の情報収集や自己研鑽に努めています。



「感染対策は一日にしてならず」　職種を問わず病院で働くすべての方の協力だけではなく、患者様、ご家族の協力が必要不可欠なものだと日々実感しています。各職種のスタッフとより良い信頼関係を築き、現状にあった対策を検討し、お互いに理解・協力しながら、感染対策を実践できるよう努めていきたいと思います。

また、院内に限らず地域の皆さまの感染対策の向上につながるような支援や活動も行っていきたいと思います。

8.20広島豪雨災害支援活動報告

平成26年8月19日～20日の広島市安佐南区・安佐北区における局地的な豪雨に伴う土砂災害によりお亡くなりになられました方々に、心より御冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました多くの皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

広島県から地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受けている当院は、県からの要請を受け災害発生10日後の8月30日より理学療法士・作業療法士を派遣し、各避難所での県公衆衛生リハビリチームの活動を終了する10月5日までの間に療法士7名述べ33名が活動しました。

リハビリテーション活動は、被災者の方々の「生活不活発病*」の予防を最大の目的とし、その活動内容は集団体操、個別リハビリ指導、段ボールベッドの設営等の避難環境設備を行い、医師・看護師・保健師等との避難所巡回に同行しました。避難生活が長期化するにつれ、被災家屋の片づけ作業に出られる避難者の方々には、長時間作業から腰痛を訴えられる方々もみられ、その予防にかかる指導も実施しました。

*生活不活発病とは、「動かない状態（生活が不活発な）状態が続くことにより、心身の機能が低下して「動けなくなる」ことをいいます。廃用症候群とも呼ばれています。

当院では、脳卒中急性期から生活期まで一貫したリハビリテーションは実施していますが、リハビリテーション支援活動は、初めての経験であり、当初は何が出来るのかという不安がありました。早朝に病院を出発し、夜遅く帰院する派遣期間は、身体的にもハードでしたが、それよりも精神的な疲労感に苛まれました。ただ、私たち以上に過酷な状況にある被災者の方々への支援活動は、リハビリテーション専門職としての存在意義を改めて考える貴重な体験となりました。

避難所生活では、食事や睡眠といった日常生活への支援も大切ですが、精神的ケア・心理的支援が必ず必要であり、これは突然発症する脳卒中により、半身の麻痺を患わされた患者・家族を急性期からチーム医療のもとに支援していく過程と通じるものがありました。

今回の災害による最大避難者数は、一時2,346人（8月22日18時現在、17避難所986世帯）とあります。避難所の解消は着実に進み、11月20日には全ての避難勧告は解除されました。しかし、未だ5人（12月1日22時現在、1避難所2世帯）の方が避難所で生活されておられます。ひき続き、被災地の早期復旧並びに被災された皆様の一日も早い生活の再建と、災害に強い、誰もが安全・安心に暮らせるまちの実現を願っております。

リハビリテーション部長 今田直樹（作業療法士）



◆佐東公民館に
設置された
リハビリ相談コーナー



◆安佐南区避難所
梅林小学校体育館にて
被災者の方々と
折り紙ブロック作り



安佐北区避難所▶
三入東小学校体育館にて
被災者と
地域包括支援センター職員の
面談へ同席



安佐南区避難所▶
旧共立病院にて
被災者の方々と
リハビリ体操

広島大学看護学生の臨床実習の受入報告について

当院では平成26年9月より12月までの4ヶ月、広島大学医学部保健学科看護学部より依頼を受け、臨床実習（成人看護実習Ⅲ）の受入をいたしました。

実習生：広島大学医学部保健学科看護学専攻3年生

実習期間：平成26年9月29日（月）～12月5日（金）

実習人数：60名

実習生の皆さんには、実習の中で患者さんに直接ケアを実践することや臨床という場での学習に戸惑いや緊張を持っていらっしゃるのではないかでしょうか。当院看護部に取りましても、将来を目指す一生懸命な学生さんとの交流は受け入れる側にとっても大変楽しみなことです。私共としても、実習をされる学生さんが、のびのびと計画された目標に向かって実習していただけるよう可能な限り実習環境を整え準備をして参りました。

今後はこれを契機に大学との連絡を密に行い、看護学生の皆さんのが、より良く実習していただけるように学校と臨床が常にコミュニケーションを図りながら、実習生に関わり、皆さんの実習目標を達成できるようにしていきたいと思っています。そして、何よりも「看護の素晴らしさ」を当院の実習でお伝えできればと考えております。

最後に、来年度も当院に実習に来られることを看護師一同にお待ちしています。お疲れさまでした。

看護部長 島田 節子

西区区民祭りに参加

平成26年11月2日（日）に第30回西区民まつりに参加させていただきました。西区民まつりは地域住民の交流を目的に昭和58年（1983年）第1回開催以来、区民主体により実施され、本年は第30回と節目の記念すべき年となりました。

当院からは、沖院長、野村診療部長をはじめ看護師、療法士、ソーシャルワーカーの18名のスタッフが参加し、①InBody（体成分分析）②転倒リスク判定③臓器移植質問コーナーを行い100名を超える方々にご参加いただきました。

なかでも①InBody（体成分分析）は、69名の参加で、2名の医師からの説明に、さまざまな質問が止むことはなく、大盛況となりました。健康への関心の高さを実感しました。

市民の方々との交流をはじめ、関連の方々と違った形での交流が持てたことはほんとうに良かったと思います。

来年の西区民まつりでも、皆様のお越しをお待ちしております。

地域連携室 退院支援看護師 山下 美紀枝



当院ブースの様子



医療法人 杏林会 いとうクリニック

住所：〒733-0823 広島市西区庚午南1丁目35-13

TEL：082-271-1831

診療科：内科、外科、小児科

院長：伊藤 孝

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●	—
15:00~18:00	●	●	●	●	●	—	—

*休診日／日曜・祝日



医療法人 杏林会 いとうクリニックの沿革

当クリニックは初代伊藤 四郎が昭和36年5月1日に当地に開業しました。

2代目は長男不肖私 伊藤 孝が平成10年から院長を引き継いで“カーブが大好きな街のお医者さん”として日夜奮闘しております。診察科目は内科一般・外科一般、父が小児科を診させて貰っています。

当院の診療



往診

私です。赤ヘルカーブのヘルメットで往診に行ってます(実は野球人、ヘルメットはネットで購入)。



名譽院長

父親です。伊藤 四郎と言います。芸能界とのつながりはありません。電線音頭すら知りません。87才、元気です。



スタッフ

前列左は理学療法士の中村先生。訪問リハビリで飛び回ってくれてます。後列は看護師のTwo Topと受付のTwo Topです。スタッフには恵まれています!



待合室

こんな感じです。このスライサーは選手がホームランを打った時に手渡されるものです。ご縁あってウチに来てくれました。



診察室

診察室です。野球博物館ではありません。後ろ13番はプリンス堂林の直筆サイン入り。その右は北京オリンピックの星野監督のユニフォーム。その下は楽天優勝時の星野監督の胴上げ。堂林の左は前田智徳の引退試合。その左は亡き木村拓也(実は後援会会長でした)。その下は安仁屋さんたちと。その右下の白い色紙は元巨人桑田投手。～すみません。つまらん自慢でした。



荒木脳神経外科との病診連携

やっと本題です!右の江本副院長は高校(修道)の同級生で、ご覧の間柄です。困った(?)患者さんでも二つ返事で快く引き受けってくれて、江本には(あえて呼び捨て)足を向けて寝れません!(でも実際は向いてまくっている、笑)。今後とも連携宜しくお願い致します!!

医療法人光臨会 理念

- 皆様に安心していただける、全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

- 「医療の原点は救急である」
- 快適な療養環境と接遇の提供
- チーム医療の推進と相互啓発
- 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います

- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
- 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
- 医療に関して知る権利を尊重します
- 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
- 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
- 自分自身の治療について他の医師の意見聞く権利を尊重します
- 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

- 患者様には適かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表

平成26年9月1日～

		月	火	水	木	金	土	診察時間
脳神経外科	午前	初診(1診) 診療部長山崎	主任部長渋川	院長 沖	医長 谷	副院長江本	広大	
		再診(2診) 副院長江本	院長 沖	主任部長渋川	診療部長山崎	診療副部長加納	医長 谷	
	午後	初・再診(1診) 診療副部長加納	診療部長山崎	広大	太田	太田	広大	
		再診(2診) 主任部長渋川	医長 谷	副院長江本	診療副部長加納	医長 谷	太田	
脳神経内科	午前	4 診			青木			
総合診療 (内科・外科)	午前	3 診	診療部長野村	診療部長藤井	診療部長野村	診療部長藤井	診療部長野村	診療部長渡辺
	午後	3 診	診療部長渡辺	診療部長渡辺	診療部長野村	診療部長渡辺	診療部長野村	
	午前	検査	診療部長渡辺		診療部長野村	診療部長渡辺		
	午後	検査		診療部長野村				
外 科	午前	4 診	診療部長藤井			診療部長藤井		
脳神経外科 形成外科 消化器内科	午前	5 診		北野病院(形成) ※平本	理事長荒木 (再診)		消化器内科 井上	

医療法人光臨会



荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス <http://www.arakihp.jp>

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

荒木クリニック 通所リハビリテーション

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6100

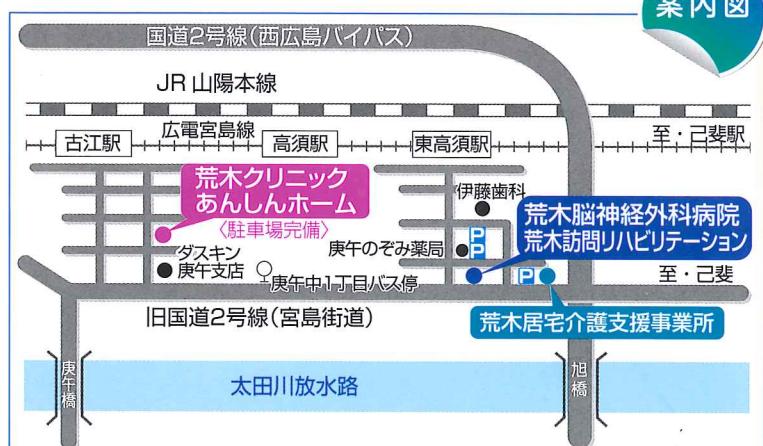
あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目1-4-201
TEL 082-507-6300

案内図



○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より

宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前



お知らせ

寒さも厳しく、体調管理の難しい季節になりましたが、手洗い・うがいなどでインフルエンザなどの予防に努めましょう。
本年もより良い麦の穂をお届けできるよう努めていきますのでどうぞよろしくお願いします。